

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年4月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東海海運 株式会社
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦2-2-18
代表者役職・氏名	代表取締役社長 鶴岡 純一
担当者連絡先	電話：03-3451-9311
	メール： s-oshima@tohkaikaiun.com
ウェブサイトURL	https://tohkaikaiun.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和24年に創業し、東京港を中心として港湾荷役事業、通関業、倉庫業、陸上運送業、産廃廃棄物処理業、港湾労働者派遣業を事業展開している。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを創出する事により、温室効果ガスの排出削減、及びエネルギーの地産地消に貢献する	再生可能エネルギーの取扱量 [現状]：216,000Kwh [目標]：837,000Kwh
□環境 ✓社会 ✓経済	子供の出生時における育児休業の取得を促進する。	育児休業の取得平均率 [現状]：66% [目標]：70%
✓環境 ✓社会 ✓経済	DX化、IT導入により労働生産性を向上させ、時間外労働を削減する	所定時間外労働の時間削減。 [目標]：時間外労働15%~20%削減

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	時差出勤、テレワーク導入などライフワークバランスによる所定時間外労働の削減に取り組んでいる。[予定]2030年所定時間外労働を15~20%削減する。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生管理室を設けて、定期的なパトロール実施やヒヤリハットの報告を行っている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	外部委託業者にストレスチェック診断を委託し、年1回実施している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	テレワーク、時差出勤、定年後再雇用制度を取り入れている。[予定]2030年の育児休業の取得率を70%に設定する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	自動車免許やフォークリフト免許など資格取得費用の補助を従業員へ提供している。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康対策プログラムを実施し、従業員のメタボ率軽減に取り組んでいる。[予定]2030年従業員のメタボ率を50%未満を達成する。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	データのクラウド化を推進し、ペーパーレス化への移行に取り組んでいる。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	所有施設に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用促進を行っている。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	EVカー導入・EVスタンドを社内を設置することにより、カーボンニュートラルに貢献している。								7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	所有施設に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの利用促進を行っている。[予定]2030年に837,000kwhを実現予定。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	製品や作業員の安全確保の為教育指導、職場安全パトロールを実施			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	[予定]適格なサイズの梱包資材を選定する仕組みを、自社の物流システムにて開発する事により、環境負荷の軽減を行う						6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	[予定]東京都の港湾エリアにおける産業廃棄物の再生に向けた拠点作りに取り組む予定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	産業廃棄物を取り扱う拠点において、近隣住民や企業に対して定期的に施設を公開している				4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	自治会との連携を図り、地域イベントへの積極的な参画、寄付を行っている。				4							11			14	15	17	
	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

